



# 学校図書館だより

## 3月号

令和6年3月  
柏市立手賀中学校  
学校図書館

日ごとに暖くなり、春の気配を感じるようになりました。3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。1・2年生の皆さんは4月に学年が一つ上がりますね。新たな出発に向けて、今まで読んだことのないジャンルの本に挑戦してみませんか？新しい発見は、きっと皆さんを支える力になるでしょう。

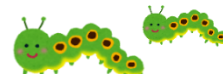


さまじまの事 おもひ出す 桜かな 芭蕉

『大人も読みたいこども歳時記 作ってみよう365日』 長谷川権 監修 小学館 2014年

啓蟄（けいちつ）三月六日頃

～知っていますか？二十四節気～



冬ごもりしていた虫が、暖かさに誘われて地表に出てくる時期です

『わくわくほっこり二十四節気を楽しむ図鑑 可愛くてためになる歳時記入門』 君野倫子 著 二見書房 2018年

虫がちょっと苦手な人も、この季節には、虫が出てくる本を手にとってみませんか？毛虫を手のにのせてかわいがる平安のお姫さま、バッタが好きすぎてバッタの大群を求めてアフリカへ行く男、昆虫の観察に生涯をささげた博物学者など、変な人と言われても自分の好きなことを突き詰める姿に圧倒されます。虫は未来の私たちの食生活を支える大切な存在になるかもしれません。

「虫めづる姫君」（『日本の古典をよむ⑥ 竹取物語 伊勢物語 堤中納言物語』より）小学館〈NDC913〉

『バッタを倒しにアフリカへ』 前野ウルド浩太郎 著 光文社〈NDC486〉

『昆虫記すばらしきフンコロガシ ファーブル ショートセレクション』

ジャン=アンリ・ファーブル 作 理論社〈NDC486〉

『未来の食べもの大研究』 石川伸一 監修 PHP研究所〈NDC611〉



## 今月のおすすめ 図書館にも春到来！桜の表紙の本を紹介します！



『もえぎ草子』

久保田香里 作 くもん出版〈NDC913〉

平安時代の京の都で、12歳の少女・萌黄（もえぎ）は大内裏で下働きを始めます。貴重な紙を盗んだと勘違いされ、追い出されますが、幼馴染や仲間と助け合い、懸命に生きていきます。清少納言との出会いもあり、言葉と紙の魅力にひかれていき…。貴族や庶民の暮らしが生き生きと描かれる時代小説です。

『リボン』

草野たき 著 ポプラ社 〈NDC913〉

中学2年生の3月、亜樹は「卓球部の伝統」として、卒業する先輩から制服のリボンをもらおうとしますが、断られてしまいます。自分の意見はあまり言わず「波風を立てないこと」をモットーに生きてきた亜樹。部活・家族・友達関係の悩みを抱えながら過ごす中学3年の一年間を描きます。卒業する3月、亜樹が見つけた大切なものとは…。亜樹の制服のリボンの行方は…。

## 学年末 貸出最終日・返却期限のお知らせ

☆3年生

貸出・返却は 終了しています。

☆1・2年生

貸出 3月7日（木）まで

返却 3月14日（木）まで



春休みの貸出はありません。全学年、返し忘れのないようにお願いします。

★裏面に「名作まちがいさがし」あり★